

個人質問 松成 国宏(公明党議員会)

京町団地の改善について

質問 京町団地は、駅や大型スーパー、病院が近く、すばらしい立地条件にありながら、設備の古さやエレベーターが無いことなどで、あまり人気がない。

今後、京町団地に外付けエレベーターを設置する考えはないのか。また、あわせて、避難用の非常階段の設置について、市の考えを伺う。

答弁 ……都市建設部長

京町団地は、人工地盤を築造し、その盤下に市民ホール・市営駐車場・店舗等を設け、盤上に市営住宅・緑地・公園等を配置した複合施設であり、1期工事完成の昭和43年度から40年以上経過した現在、外壁改修は実施したものの、各施設とも老朽化が進んでいるのも事実です。

このようなことから、京町団地の今後の予定としては、坂出市公共施設耐震化計画に基づき、平成23年度に耐震診断を実施する予定であり、その診断結果により耐震補強計画を進める中で、エレベーター等の設置によるバリアフリー対策も含めて検討していく考えです。

非常階段の設置については、京町団地の各棟に新たに直通階段や避難階段等を設置することは、現状の建物配置や建築基準法等の制約により困難であると考えています。

なお、平成22年度に京町団地全戸について、火災・防災対策向上の観点から消防法等により設置義務となっている、住宅用火災警報器を設置する予定となっています。

富岡 利昭(日本共産党議員会)

公立学校耐震化工事について

質問 公立学校の耐震化を含む関連予算は、高校授業料無償化等の目玉政策優先のため、概算要求段階から半分以下に削減された。国庫補助率の嵩上げ等の緊急措置は2010年度が期限である。

鳩山首相は、経済危機対応・地域活性化予備費があり、必要な場合は対応できるとしているが、本市の公立学校の耐震化の状況はどうなのか。

答弁 ……教育部長

本市では、県教育委員会や市の財政当局と協議した結果、平成22年度事業として検討していたIs値0・3以上の建物の耐震補強事業等については、可能な限り国の平成21年度事業に追加前倒ししていくこととし、今定例会の補正予算案に、新たに小学校4校8棟、工事費で約5億8400万円を計上し、国の補助採択事業として進めているところだ。

また、Is値0・3未満の建物の耐震補強事業に対する国庫補助率3分の2の嵩上げ措置は、平成22年度までの時限措置とされていますが、本市で対象となるのは、白峰中学校南校舎及び川津幼稚園遊戯室の2棟であり、既に昨年の補正予算で工事費等の予算を計上し、有利な補助制度の適用を受けております。

教育委員会としては、少しでも有利な補助制度を活用しながら、できるだけ早期に幼稚園や小学校施設の耐震化を完了できるように、取り組んでいきたいと考えています。

葛西 吉弥(黎明)

室町谷内線について

質問 室町谷内線道路改良事業については、車両の混雑解消が事業着手の根拠の一つとなっているが、この路線は混雑しておらず、また、この道路改良事業に反対する地元住民もいる。

この道路改良事業は、周辺地域の活性化に寄与するものとは到底考えられず、事業を継続する必要はないと考える。

この室町谷内線道路改良事業について、現在の状況はどのようになっているのか。また、今後の方針は。

答弁 ……市長

室町谷内線の現在の状況については、第1期の整備として、県道高松善通寺線から南へ73mの間を、平成19年度から23年度までの5カ年事業で整備を図っているところであり、今年度の執行については、用地買収、物件補償及び工事等の契約をすべて締結しています。

これまでのところ予定通りの進捗となっており、今年度末の進捗状況は、事業費ベースで約57%となる見込みです。

今後とも、早期整備に向け、鋭意、進捗を図っていきたくと考えています。

今後の方針としては、第1期の整備後に、第2期及び第3期の工事について、関係者の皆様や議会と協議をさせていただきながら、方針を決定していきたいと考えています。

第1期工事の途中での中止は、非常に困難であることを、ご了解いただきたいと思います。